

左京区基本計画(第3期) 令和5年度の取組状況 について

令和6年7月



まちづくりの基本姿勢と5つの要素

1. つながり

住民同士や地域間、各団体間、事業者間等における「交流・つながり」の促進

(※第2期取組分野15「交流」を拡大して位置付け)

住民同士や「地域間」「世代間」「各団体間」「事業者間」「これまで住んでいた住民と移住外国人や留学生などの転居してきた住民」「観光客と区民」「大学と地域」など様々な主体が、様々な媒体を通じて、互いの情報を共有しながら交流とつながりを促進する。

【取組の具体例】

- ・左京区民ふれあいまつり
- ・SNSやオンラインのICTツールの活用
- ・まちづくりネットワーク形成事業

5. 左京愛

「左京ファン」の拡大と
まちの「担い手・支え手」の育成

単に左京区の魅力を一元的に発信するだけでなく、様々な人が、訪ねる魅力・住む魅力・働く魅力等をきめ細かく区内外へ発信し、広げていくことにより、国籍等に関わらず多様な区民のまちへの愛着・誇りを醸成する。まずは広く左京に訪れていただくことで「左京ファン」を増やし、その中から若い世代をはじめとした人の移住や定住を促進させ、各地域の行事・取組の後継者や、まちづくりの「担い手・支え手」を育成していく。

【取組の具体例】

- ・左京区広報PRキャラクター
- ・左京・地域ゆかりの文化発信・継承プロジェクト

「誰一人取り残さない」 SDGsの理念を踏まえた 持続可能なまちづくりの推進

国連において掲げられたSDGs(持続可能な開発目標)の「誰一人取り残さない」の理念や方向性を踏まえながら、高齢者などのデジタル・ディバイド(情報格差)を解消する真のIT社会の実現。あらゆる危機に備えたレジリエント・シティ[※]の実現を図り、左京に暮らし、働き、学び、左京を愛するすべての人が、生涯を通じていきいきと過ごせる、持続可能な安心安全の左京のまちづくりを推進する。

2. 協働

区民・事業者や様々な団体・機関による
参加・連携・協働によるまちづくりの推進

(※第2期取組分野14「市民参加」を拡大して位置付け)

区民、地域団体、事業者、大学、NPO・活動団体、行政等が参加・連携・協働し、各主体の「強み」を生かして、社会課題の解決や左京の魅力発信等を行うまちづくりを推進する。

【取組の具体例】

- ・左京区まちづくり活動支援交付金事業
- ・世界一安心安全・おもてなしのまち京都市民ぐるみ推進運動
- ・地域課題解決に向けた大学との協働事業
- ・はぐくみネットワーク

3. 共生

多様性を互いに尊重しながら共に生きるまちの推進
(※第2期取組分野15「共生」を拡大して位置付け)

全世界から集まる多くの学生や外国籍市民等、性的少数者など、様々な文化や価値観を持った人々が互いの文化や考え方の違いを認め合い、尊重し合いながら、助け合い、支え合うまちづくりを進める。

【取組の具体例】

- ・心のふれあいみんなの広場
- ・心ときめき芸術祭

4. なりわい

産業振興・しごと創造による地域活性化、生活基盤の安定と定住化の促進、地域内経済循環の促進、文化と経済の融合
左京区内の地域や文化を支えている事業者(地域企業等)・職人が地域資源を生かしながら活躍して産業を振興することにより、地域が活性化し、区民の生活基盤が安定して、だれもがいつまでも安心して住み続けられるまちづくりを推進する。
また、社会的課題・地域課題の解決を目標として、スタートアップ企業[※]や、ソーシャルビジネス[※]に取り組む企業等と連携し、持続可能なまちづくりの推進体制を確立していく。

【取組の具体例】

- ・企業と連携した(ビジネス的手法による)地域活性化

※レジリエント・シティ：自然災害や人口減少をはじめとする様々な危機に対し、転り強くしなやかに対応し、将来にわたって人々がいきいきとくらせる、魅力と活気に満ちた都市。

※スタートアップ企業：新しいビジネスモデルで急成長をめざす新興企業

※ソーシャルビジネス：社会的課題の解決にビジネスの手法を活用して取り組むこと。

左京の自然や文化を大切にし、 誰一人取り残さない持続可能なまちづくりを進めます

■ 第2期計画で掲げた3つの目標「美しい自然のまちづくり」、「歴史・文化・学問のまちづくり」、「ひとにやさしいぬくもりのまちづくり」を継承し、SDGsへの対応や厳しい京都市財政、持続可能な行財政の確立等の新たな課題を踏まえながら、新たに**まちづくりの基本姿勢・5つの要素**を掲げ、**12の取組分野**を設定しました。

目標 1 美しい自然の まちづくり

緑あふれる美しい自然を守り育て、
脱炭素・自然共生・循環型社会を実現し、
環境と調和したまちづくりを進めます。

5年後
の
すがた 美しい自然環境と自然資源を活用し、
持続可能な生活を実現している。

1 自然環境

2 まちの美化・景観

3 自然と調和した
都市基盤整備

4 防災・消防

目標 2 歴史・文化・学問の まちづくり

豊かな歴史と多彩な文化、
多くの大学が集まる学問の魅力を
更に高めるまちづくりを進めます。

5年後
の
すがた 伝統を生かしつつ、新しい魅力を創造
している。文化によって社会、経済が活
性化されている。

5 歴史資源・文化財・
伝統行事

6 観光

7 文化・芸術

8 大学のまち・
学びのまち

目標 3 ひとにやさしい ぬくもりのまちづくり

全てのひとが支え合いながら、
住み慣れた地域で暮らしていくことができる
地域共生社会を実現するまちづくりを進めます。

5年後
の
すがた 誰もが人とのつながりや生きがい、役割
を持ち、社会的に孤立することなく、いき
いきと安心して過ごすことができる。

9 子どもはぐくみ

10 健康長寿

11 障害者福祉

12 地域コミュニティ・
安心安全

左京区基本計画(第3期)の令和5年度の取組状況について

持続可能なまちづくりに向け、5つの要素を核に、12の取組分野における事業等を推進。

5つの要素に基づく取組（12の取組目標全般に関わる事業等）

1. つながり

住民同士や地域間、各団体間、事業者間等における「交流・つながり」の促進

★まちづくりネットワーク形成事業

区基本計画の推進に当たり、区民や様々な団体(まちづくり団体、事業者など)のネットワークを形成することで、地域のまちづくりの担い手の裾野拡大・育成や、新たなまちづくり活動の誕生、まちづくり活動の維持・活性化を図る。

○「左京まち×biz」(まちづくり交流会)

8月26日に、(一財)京都中小企業家同友会 左京支部との共催により開催。区内外で積極的にまちづくり活動を行っている事業者の事例報告やワークショップ等を通じて、支部員、まちづくり活動団体が積極的な意見交換を行った。(参加者約100名)

○まちづくりネットワーク会議(左京区まちづくり交流会2024)の開催

2月12日に、区民や様々な団体の交流の場として開催。今年度の左京区まちづくり活動支援交付金交付団体による取組報告、中脇健児氏(大阪芸術大学准教授)による伊丹市でのまちづくり活動事例の講演とともに、左京区のまちづくりについて様々な立場から意見交換を行った。(参加者約90名)



2. 協働

区民・事業者や様々な団体・機関による参加・連携・協働によるまちづくりの推進

★左京区まちづくり活動支援事業

○左京区まちづくり活動支援交付金

区民自らが主体的に取り組むまちづくり活動を支援する「地域活動部門」、区内ではじめて自主的なまちづくりに取り組む団体を支援する「はじめる部門」を設けており、応募のあった34事業のうち、「京都市左京区まちづくり活動支援交付金審査会」での審査を踏まえ、29事業(交付決定額4,234千円)に交付することを決定。(1事業自体、1事業中止のため27事業実施)



○まちづくりネットワーク会議(左京区まちづくり交流会2024)の開催(再掲)

3. 共生

多様性を互いに尊重しながら共に生きるまちの推進

★左京区民ふれあい事業

- ・区民の積極的な交流の機会をつくり、地域のつながりを深めてもらう。
- ・多世代交流、異文化交流を促進する。
- ・左京区の魅力を発信する。

○左京区民ふれあいまつり2023(令和5年9月24日)

各種団体、学生や事業者によるワークショップ、飲食や雑貨販売のブース、ステージパフォーマンス等を実施した。(参加者約2,500名)

○第30回左京区民ふれあいウォーキング(令和5年11月23日)

京都ノートルダム女子大学の学生と連携し、宝が池公園を舞台に、謎解き&宝探しありのウォーキングを実施した。(参加者83名)

○第41回左京区民煎茶会(令和5年6月17日)

(公財)煎茶道方円流の協力の下、大本山百萬遍知恩寺の庭園を見ながら煎茶を楽しむ会を開催した。(参加者178名)

○左京区民正月いけばな教室(令和5年12月23日)

華道未生流笹岡の協力の下、正月いけばな教室を開催した。(参加者43名)

○親子ふれあいセミナー:京都市京セラ美術館で展覧会を作ってみよう! (令和6年1月27日)

美術館の何もない展示室で、自分で描いた絵やお気に入りのポスターなどを展示する、小学生向けの展覧会作り体験会を開催した。(参加者31名)

○第33回左京区民作品展(令和6年2月29日～3月3日)

左京区に関わりのある方の絵画、写真、書道、手工芸品を展示した。
(出展396点、来場547名)



4. なりわい

産業振興・しごと創造による地域活性化、生活基盤の安定と定住化の促進、地域内経済循環の促進、文化と経済の融合

○「左京まち×biz」【初開催】(再掲)

令和5年2月に締結した「京都市左京区役所と一般社団法人京都中小企業家同友会左京支部との地域連携に関する協定書」に基づき、具体的事業として同会との共催の下、同会会員企業をはじめまちづくり活動団体や学生など多様な主体の参加によるワークショップや報告、意見交換を実施した。



5. 左京愛

「左京ファン」の拡大とまちの「担い手・支え手」の育成

★まちづくりネットワーク形成事業(再掲)

区基本計画の推進に当たり、区民や様々な団体(まちづくり団体、事業者など)のネットワークを形成することで、地域のまちづくりの担い手の裾野拡大・育成や、新たなまちづくり活動の誕生、まちづくり活動の維持・活性化を図る。

★ふるさと納税の呼び掛け

区政100周年に向け、区民等とのつながり意識を醸成し、左京区へのふるさと納税の寄付勧奨のため、左京区からの転出者向けチラシを作成し、配布を実施した。



★「こんにちは左京区長です」ページの運用

区長が出向いた地域のまちづくり事業や区事業の様子を、区長自らの言葉で区ホームページに掲載することで、左京区の魅力を発信している。



内容はこちら



1 2 の取組目標に基づく取組

目標1 美しい自然のまちづくり

緑あふれる美しい自然を守り育て、脱炭素・自然共生・循環型社会を実現し、環境と調和したまちづくりを進めます。

① 自然環境

★チマキザサ再生プロジェクト 北部

祇園祭の厄除け粽、京料理や京菓子などに利用されてきた、左京区北部山間地域のチマキザサの再生のため、再生環境整備や、次世代の担い手確保・技術継承支援、普及啓発等を実施した。

- ・ 既存防鹿柵のうち、再生が進んでいる保護区の一部で、チマキザサを採取。（採取、選別、加工作業にボランティア10名が参加）
- ・ 127箇所チマキザサ株を移植。
- ・ 担い手組織の家族・親族を対象とした体験ワークショップ等を実施。
- ・ 加工・厄除け粽づくり体験イベントを開催。（参加者26名）



●山村都市交流の森センターエリア等のリニューアルオープン（農林振興室林業振興課）

北部

花脊八桝町にある「山村都市交流の森」センターエリア等では、令和5年度から株式会社花背山の家協会による運営を開始した。

令和5年4月29日（土）から旧森林文化交流センターの貸館、BBQ施設の営業を開始し、令和5年7月22日（土）には、案内休憩所を改修し、軽食喫茶を提供する「cafeどぼんじい」として、リニューアルオープンした。

また、夏の魚つかみ体験やスタンプラリー、秋のオータムフェスタ、冬の雪あそびや田舎体験など季節ごとのイベントも実施した。



★北部山間地域魅力創造・発信事業 北部

左京区北部山間地域における職や自然、文化など、様々な魅力を発信するための事業等を実施。

○地域PRイベントの開催

- ・ 左京キラリ市
左京区北部山間地域（花脊・別所・広河原・久多・百井・大原）の豊かな自然、山里の生活文化、伝統行事などの魅力を発信する特産市を開催。



- ▶ 8月3日 参加者約510名
- ▶ 12月22日 参加者約500名
- ▶ 3月20日 参加者約700名（※）
（※）ゼスト御池で初開催。購入者へのノベルティとして左京区産木材を使用したお箸をプレゼント。

○左京区北部山間地域魅力発信フォトブックの作成

地域ならではの魅力を発信するため、日常の暮らし営み、美しい自然風景、伝統文化などの写真を掲載したフォトブックを令和4年度に制作。令和5年度は増刷を行い、「左京キラリ市」等のイベントでの配架を通じ、地域の魅力をPRした。



○左京区産木材のフレーム等の作成

左京区産木材のフレームとフレームスタンドを作成し、各事業で活用することで左京区産木材の啓発を行った。

★「ふれてみよう京都の木 左京木の体験ひろば」事業の実施

様々な森林資源のある左京区の文化、魅力の発信のため、京都府立北稜高等学校等と連携し、洛北阪急スクエアにて小中学生向け木工体験や同校生徒及び京都森林インストラクターとのトークセッションを実施。（木工体験：参加者約40名、トークセッション：参加者約50名）



目標1 美しい自然のまちづくり

緑あふれる美しい自然を守り育て、脱炭素・自然共生・循環型社会を実現し、環境と調和したまちづくりを進めます。

② まちの美化・景観

★2024左京ふれあいecoフェスタ(左京区地域ごみ減量推進会議)

「もったいないを大切に」をテーマに、区役所大会議室にて衣類、陶磁器製食器のリユース会を実施。併せて、里の駅大原による出張販売を実施した。

○上高野エコ推進会議

学区の一斉清掃やてんぷら油の回収等、エコに関する取組を行いつつ、令和5年度は三田市シルバー人材センター竹炭研究会代表佐藤匡昭氏を講師に、室内でも取り組める、洗濯ネットを用いた「竹パウダー生ごみコンポスト」の学習会を開催。



○哲学の道保勝会(哲学の道保勝会)

哲学の道沿いのホテルや自然環境の調査、住民や観光客への啓発(シンポジウムなど)を実施することにより、住民の暮らしと自然が、共生できるまちづくりを目指す。令和5年度は、小学校へ出張講座や疎水の清掃活動を実施。(参加者454名)

○スタジオぐるりの立ち上げーハイザイ・ハザイで創作の場を創ろう!ー(スタジオぐるり)

左京西部いきいき市民活動センター等で、地域の大学生、かもがわデルタ実行委員会等と連携し、ハイザイ・ハザイを活用した子ども向けのワークショップを開催し、地域のつながりを深めていく。(参加者380名)

○京都から使い捨て包装ごみを減らすプロジェクト(くるん京都)

使い捨て容器包装を減らすため、区内の量り売り・マイ容器を行っている店舗の紹介、利用者数拡大のため、店舗マップの作成、店舗であるステッカー(廃材利用)を作成。また、ごみ問題を知るための洗瓶工場見学会、ワークショップ等のイベントを開催。延べ100名が参加。

③ 自然と調和した都市基盤整備

●宝が池みらい共創会議(みどり政策推進室)

- ・ 宝が池公園に関わる皆様の積極的な参画及び公民連携の下、公園の将来像を共有するとともに、その実現に向けた取組を実践することにより、持続可能で魅力ある公園づくり、ひいては周辺地域の活性化へとつなげていくことを目的とする。
- ・ 11月に任意団体として正式発足。(令和5年3月、「宝が池みらい共創会議」の準備会がスタート)
- ・ 地域の自治組織や公園で活動する市民団体、周辺企業、京都市等、約30の団体・有識者が参画し、準備会を含め、これまで4回の会議を開催。
- ・ 令和6年3月、「宝が池みらい共創会議」において、今後の活動方針となる「宝が池みらい共創指針」を取りまとめ。



●左京区管内における道路整備等

(京北・左京山間部土木みどり事務所)

国道477号線等で災害防除工事等を実施。

- ・ 一般排水路改良補修工事 花脊別所町 令和5年5月完成(5年度繰越)
- ・ 舗装道補修工事 花脊別所町 令和5年6月完成(5年度繰越)
- ・ 舗装道補修工事 広河原能見町 令和5年10月完成
- ・ 北部山間地域道路部分改良 花脊八桝町 令和6年3月完成
- ・ 一般排水路改良補修工事 花脊八桝町 令和6年6月完成(6年度繰越)
- ・ 災害防除工事 花脊大布施町 令和6年4月完成(6年度繰越)

北部

目標1 美しい自然のまちづくり

緑あふれる美しい自然を守り育て、脱炭素・自然共生・循環型社会を実現し、環境と調和したまちづくりを進めます。

④ 防災・消防

★災害に強い左京区づくり事業

災害に強い左京区のまちづくりを推進するために、次の取組を実施。

○地域の防災力向上に向けた意見交換会の実施

地域の防災力向上に向けた基盤づくりのため、学区ごとの各種団体等による意見交換会を2回実施、計8学区が参加。

○区民の防災意識の向上を図るための啓発

防災意識の向上を図るための啓発に関して、以下の取組を実施。

- ① 小学校における防災授業の実施。(計7校)
- ② 事業所や各学区の防災研修会などへの出講。(計18回)
- ③ 各学区の会合や防災訓練など、あらゆる場面を活用し「マイタイムライン」を周知し、平常時からの備えや避難行動の確認などを啓発。
- ④ 市民しんぶん左京区版(左京ボイス)における防災記事の掲載。

○左京区長による防災講演会の実施

「災害時の行政の支援と地域の支え合いの連携について」をテーマに、左京区地域福祉シンポジウム、京都洛北ライオンズクラブ等で計4回講演会を実施。

○安心安全な避難所運営のための物資購入

避難所開設の際に必要なに応じ追加配備するため、冷風機、ランタン、モバイルバッテリーを購入。



○令和5年度左京区総合防災訓練の実施

松ヶ崎学区総合防災訓練(松ヶ崎小学校150周年事業)と合わせて、大規模災害の発生に備え、自主防災会をはじめとする区民の皆様や防災関係機関との連携の下、災害対応力の向上及び防災意識の高揚を目的とした総合的な防災訓練を実施。

1 日時(場所): 令和5年12月3日(京都市立市立松ヶ崎小学校)

2 主催: 左京区防災会議 共催: 松ヶ崎学区自主防災

3 実施内容

(1) 大規模災害対応訓練

- ・ 松ヶ崎学区の避難訓練
- ・ 福祉避難所運営訓練
- ・ 松ヶ崎ジュニア消防団等による応急救護訓練
- ・ 左京消防署によるドローン飛行訓練及び松ヶ崎消防分団による放水訓練

(2) 市民防災啓発



○令和5年度左京区防災会議の開催

防災力向上のための取組について、各関係機関等と情報共有等を実施。(6月13日開催)



目標2 歴史・文化・学問のまちづくり

豊かな歴史と多彩な文化、多くの大学が集まる学問の魅力を更に高めるまちづくりを進めます。

⑤ 歴史資源・文化財・伝統行事

★左京・地域ゆかりの文化発信・継承プロジェクト

○ 左京・地域ゆかりの文化実行委員会

区内各地域において継承されてきた伝統行事、郷土料理等、地域ゆかりの文化を50年後、100年後まで継承していけるようその魅力発信に取り組む。

伝統文化・伝統行事を「継続的に」「幅広く」PRすることを目的に、担い手の想いなど、その「ひと」に焦点を当て、若い世代に“引っかかる”ような内容とすることで次代の担い手づくりに資するものとするため、伝統行事に携わるボランティアや保存会員にフォーカスした映像を制作。令和5年度は「大文字送り火」、「久多の花笠踊」、「吉田木瓜大明神の剣鉾差し」の3つの映像を制作し、映像上映及び吉田剣鉾保存会の方のトークイベントを実施。

映像上映会&トークイベント「新たな担い手からみた左京の伝統行事」

- 1 日時
令和6年3月16日
- 2 場所
HOSTELNINIROOM(左京区東丸太町30-3)
- 3 内容
 - ・ オープニング(事業趣旨説明等)
 - ・ 映像上映「思いがつなぐ左京の伝統行事」
 - ・ トークイベント「剣鉾を通じた地域との関わり」
 - ・ 交流会(吉田剣鉾保存会員と参加者との質疑応答、交流等)
- 4 参加者
 - ・ 左京区民等計20名(うち、オンライン視聴者4名)
 - ・ イベント終了後の映像ループ放映視聴者15名



大文字

久多



吉田

総集編

○ 左京食文化推進事業「“ほんまもん”の食を楽しもう」 実行委員会

北部

「家庭での食の大切さ」をテーマとした講演会や、大原の野菜を中心に、生産者、販売者、料理人がそれぞれの立場から、左京の食文化を語り合う座談会を開催した。内容は次のとおり。

シンポジウム「暮らしに息づく左京の食文化」

- 1 日時
令和6年3月10日
- 2 場所
左京区役所大会議室
- 3 内容
 - ①講演「家庭での食の大切さ」講師園部晋吾氏(山ばな平八茶屋主人)
 - ②座談会「暮らしに息づく左京の食文化」高田潤一郎氏(音吹畑経営)、角谷香織氏(Gg's主宰)、中東久雄氏(草喰なかひがし主人)、宗田好史氏(京都府立大学名誉教授)
 - ③出汁の試飲会、大原産の「祇園豆」を材料にした生ハッ橋の試食会
 - ④大原産の野菜、北部山間の加工食品の販売等
- 4 参加者
89名



目標2 歴史・文化・学問のまちづくり

豊かな歴史と多彩な文化、多くの大学が集まる学問の魅力を更に高めるまちづくりを進めます。

⑤ 歴史資源・文化財・伝統行事

★北部山間地域魅力創造・発信事業 北部

○Instagramを活用した広報発信

イベント告知や季節の移ろい、日常を映し出す投稿に加え、広河原松上げ、久多の花笠踊をインスタライブにて生配信を行った。



●京都・里山親子でめぐる伝統文化体験教室 北部 (地域自治推進室)

京都市北部山間地域に受け継がれてきた里山文化(伝統行事等)を子どもたちが一日体験や映像体験により、山間地域の文化を学び、日本の伝統文化を守ることの大切さを理解するとともに、持続可能な社会の実現への興味・関心を高めることを目指す。これらを通じて、伝統文化の継承とともに、山間地域の魅力発信等に資する。

・ 京の伝統を支える粽づくり体験

京の祭事や食文化を支える里山のチマキザサなど、地域資源を守る現場の取組を実際に体験できるワークショップ等を通じて、食文化の継承や獣害対策など里山の暮らしや伝統文化を学ぶ。(15組30名定員 応募57組114名)

・ 久多花笠づくり体験

地域に伝わる花笠踊りで使用する花笠(美しい造花で飾った灯籠)づくりが体験できるワークショップを開催し、伝統芸能が果たす役割や京都の歴史と文化を学ぶ。(15組30名定員 応募59組118名)



当日の様子

⑥ 観光

●「とっておきの京都」プロジェクトにて、大原地域で実証事業実施(観光MICE推進室) 北部

隠れた名所の魅力を発掘・活用することにより、観光客の分散化、地域の活性化に繋げることを目的とする同プロジェクトにて、「OHARA FARMY」「音吹畑」が共同で里山風景広がる大原において農と食を体験できるツアー(開墾～収穫体験、糠漬け体験等)を実施。(10月29日、12月16日。参加者計18名)。



★「鯖街道の日プロジェクト」への参画

毎年3月第二日曜日の「鯖街道の日」に合わせ、イベントの広報協力を実施。区役所、出張所へのポスター掲示の他、3月10日実施の食文化事業時にPRブース出展した。

★北部山間地域魅力創造・発信事業 (再掲)

★岡崎地域活性化の取組 (再掲)

●京都・里山親子でめぐる伝統文化体験教室(地域自治推進室)(再掲)

目標2 歴史・文化・学問のまちづくり

豊かな歴史と多彩な文化、多くの大学が集まる学問の魅力を更に高めるまちづくりを進めます。

⑦ 文化・芸術

★左京区民ふれあい事業(再掲)

- ・区民の積極的な交流の機会をつくり、地域のつながりを深めてもらう。
- ・多世代交流、異文化交流を促進する。
- ・左京区の魅力を発信する。

<文化事業>

- 第41回左京区民煎茶会
- 左京区民正月いけばな教室
- 親子ふれあいセミナー:京都市京セラ美術館で展覧会を作ってみよう!
- 第33回左京区民作品展



★岡崎地域活性化の取組

○ 京都岡崎魅力づくり推進協議会の運営

確立されつつある京都岡崎のブランド力を活かし、岡崎地域で活動することに価値を見出す民間事業者を協議会事業の新たなプレーヤーとして巻き込み、民間の創意工夫を活かした取組により、収益の上がる事業モデルを確立することで、協議会事業を持続可能なものとする。

- 1 総会の開催(書面表決)
- 2 幹事会の開催(計11回)
- 3 岡崎の総合情報パンフレット「岡崎手帖」の発行(春号)
- 4 岡崎総合情報サイト「京都岡崎コンシェルジュ」の運用
- 5 「地図で読む 京都・岡崎年代史」の販売(286冊)
- 6 その他(エリアネットワークの取組)
 - ・「京都モダン建築祭」企画協力
 - ・「NAKEDヨルモウデ2023平安神宮」企画協力



目標2 歴史・文化・学問のまちづくり

豊かな歴史と多彩な文化、多くの大学が集まる学問の魅力を更に高めるまちづくりを進めます。

⑧ 大学のまち・学びのまち

★地域課題解決に向けた大学との協働事業

区内6大学で取り組んでいる地域と連携したまちづくり活動について、各大学の特色を活かした取組を推進する。

○鞍馬火祭ボランティア統括業務

令和5年10月22日(日)実施「鞍馬火祭」に係るボランティア統括業務を実施。京都大学(深町ゼミ)と協働し、当日運営の一部を担った。
これを通じ、若い世代に対して伝統行事の魅力を発信。

○インターンシップの実施

- ・ 地域力推進室企画担当にて京都府立大学公共政策学部3回生のインターンシップ生1名を受け入れ、市民しんぶん左京区版「左京ボイス」作成など広報等に従事。
- ・ 健康長寿推進課にて京都大学実習生5名を受け入れ、保健師としての実習を実施。

○左京区民ふれあい事業(ふれあいウォーキング)(再掲)

- ・ 京都ノートルダム女子大学の学生10名と連携し、謎解きと宝探しを企画。学生が当日のガイド役を担ったことで、多世代交流に繋がる取組となった。

○大学生を対象とした健康づくり(P19参照)

- ・ 健康長寿推進課、障害保健福祉課による大学学園祭(京都府立大学、京都ノートルダム女子大学)へのブース出展。



目標3 ひとにやさしいぬくもりのまちづくり

全てのひとが支え合いながら、住み慣れた地域で暮らしていくことができる地域共生社会を実現するまちづくりを進めます。

⑨ 子どもはぐくみ

★左京子どもはぐくみの推進

○ようこそお母さん・お父さん～左京の子育て応援します～

各学区民生児童委員協議会と連携し、子育て中の家庭が気軽に育児等の相談ができる体制を築くとともに子育てに役立つ情報を提供。

1 子どもはぐくみ室と連携した各学区民生児童委員協議会の活動

- ・「こんにちは赤ちゃん事業」(生後4か月までの乳児を保健師・助産師が全戸訪問する事業)や転入手続の際に、子どもはぐくみ室において事業案内を実施。
- ・上記の案内を経て申請した子育て家庭に対しては、各学区の民生委員や主任児童委員が、家庭訪問と併せて、子育て情報(子育てサロンの案内や左京はぐくみだより、児童館だよりなど)の提供や子ども向けプレゼントの配布を実施。
- ・情報提供は月1回、子どもが1歳になる頃又は子育てサロンや保育園等につながるまでを目途に実施。
- ・これらの活動を通じて民生児童委員が保護者と対面し、育児に関する悩みなどを聞くことで、保護者と民生児童委員間の相談体制を確保し、子どもはぐくみ室への情報提供を実施。

2 各学区民生児童委員協議会への補助

- ・家庭訪問時に配布する子ども向けプレゼントや子育てサロンの運営に要する経費を支援する補助金を交付。

○左京子育て応援ミュージックフェスタ

妊婦(配偶者を含む)、0歳児及びその保護者が、弦楽五重奏を鑑賞しながら、穏やかな雰囲気の中で専門職への子育て相談をできる機会として、「左京子育て応援ミュージックフェスタ」を開催。

イベントを通じて、対象者が子育て支援者(機関)や同じ環境の方と繋がる機会を提供し、育児不安及び孤立感の解消を目指すとともに、心身ともに穏やかな時間を過ごしなが、地域ぐるみで子どもを共に育む左京区を実感していただいた。

1 実施日及び場所

令和5年8月31日(木) 左京区役所1階大会議室

2 内容

- (1) 弦楽五重奏
- (2) 専門職(※)による子育て相談
※ 保健師、保育士、助産師、管理栄養士、歯科衛生士
- (3) 乳幼児の体重測定
- (4) 民生児童委員及び児童館職員による活動紹介
- (5) 掲示による子育て情報の発信

3 参加人数

51組(大人61名、子ども60名)
うち、子育て相談は延37組が利用
体重測定は35組40名が利用



目標3 ひとにやさしいぬくもりのまちづくり

全てのひとが支え合いながら、住み慣れた地域で暮らしていくことができる地域共生社会を実現するまちづくりを進めます。

⑨ 子どもはぐくみ

○ベビー用品のお譲り・回収「リユース会」(令和5年度新規)

東部まち美化事務所が回収している使用済みのベビー用品(子ども服、絵本、おもちゃなど)を、希望者に無料でお譲りするリユース事業を実施。当日は、循環型の事業として、ベビー用品の回収も行った。

利用者からは肯定的な意見が多く聞かれており、令和6年度も引き続き実施中。

1 実施日

令和5年 ① 5月24日(水)、②6月16日(金)、③ 7月26日(水)、
④ 8月 4日(金)、⑤9月27日(水)、⑥11月22日(水)、
⑦12月 8日(金)
令和6年 ⑧ 2月28日(水)

2 実施場所

いずれの実施日も左京区役所3階子どもはぐくみ室(健診の待合スペース)

3 参加人数

① 86組、② 55組、③ 60組、④ 51組、
⑤ 63組、⑥ 64組、⑦ 65組、⑧ 72組



○ダウン症児の親の会 ハイハイ☆

ダウン症のある子どもを育てる保護者が悩みや育児情報を共有することで、育児不安の軽減を目指すとともに、子どものすこやかな成長発達を促進することを目的として実施。

ダウン症児を養育している保護者から交流を希望する声があがり、平成25年度から年1~2回開催している。

1 実施日及び場所

①令和5年7月31日(月) 及び ②令和6年3月25日(月)
いずれも左京区役所3階講堂

2 内容

情報交換・交流会と、子どもが参加している場合は遊びの提供

3 参加人数

①5組11人(親5人、子6人)
②2組2人(親2人、子0人)

目標3 ひとにやさしいぬくもりのまちづくり

全てのひとが支え合いながら、住み慣れた地域で暮らしていくことができる地域共生社会を実現するまちづくりを進めます。



⑩ 健康長寿

★左京・健康なまちづくりプロジェクト

「左京区民が健康で生き活きと暮らせるまちづくり」を目的に、①左京区における機運醸成(周知・啓発)と環境整備、②個々の区民の意識改革・行動変容に取り組む。

○左京・健康なまちづくり協議会の開催(6月8日、3月14日)

○健康づくりを身近な生活の中で意識し実践するための情報提供と環境づくり

① 左京・健康パワーアップ大作戦！

がん予防を中心に、食育など健康づくりのブースを設け、子どもから大人まで楽しみながら学べるイベントを開催。

日時:令和5年8月7日 場所:洛北阪急スクエア

内容:各種がん検診の案内・啓発(クイズラリー、乳がんモデル触診体験など)、食育コーナー(豆掴みゲーム、減塩クイズなど)

参加者:クイズラリーアンケート回答者(86名)、豆掴みゲーム(88名)、減塩クイズ(31名)

② 左京健康講座2023

年齢問わず日常生活に取り入れやすい「歩行」をテーマに講座を実施。専門医の講話と歩行に関する測定の2本立てで実施。

日時:令和5年10月19日 場所:左京区役所

講話テーマ:「運動は万能！歩行と体操で健康寿命延伸を」

講師:河崎 敬先生(京都府立医科大学リハビリテーション医学教室)

測定:個別測定(歩行年齢、フットプリント)、結果の評価

参加者数:50名

③ 休日開催「歯科相談・胸部検診・育児相談」+がん検診普及啓発

幅広い世代に対して、健康づくりの普及啓発や歯科相談、胸部検診の機会をもってもらうために、3年ぶりに開催された「左京区民ふれあいまつり」との連携を図った。

日時:令和5年9月24日 場所:左京区役所

受診者数:歯科相談(199名)、胸部検診(22名)、子ども測定コーナー(89名)※ふれあいまつり全体来場者数は約2,500名

○健康づくりに関心の低い層への働きかけ

若いうちから自身の健康に関心を持ち、継続して健康づくりに取り組むことの重要性を認識してもらうために健康づくりブースを設け、お口の健康、子宮頸がん検診、感染症、メンタルヘルスなどの健康づくりに関心が高まるような取組を実施した。

日時:令和5年11月5日

場所:京都府立大学

内容:障害保健福祉課と共同で上記健康に関するブースを設置。(参加者約110名)

○がん検診受診率向上のための取組

がん検診ガイド(左京区版。オールカラー16ページ。5,000部)を作成し、図書館や郵便局、金融機関などで配布した。

○さくらちゃん体操ひろば

左京区健康づくりサポーターが中心となり、独自に考案したさくらちゃん体操を実施して区民に健康づくりの提案をしている。加えて、左京区健康づくりサポーター活動の活性化を図る。

日時:毎週水曜日 午後2時(約30分間)※先着20名定員制

場所:左京区役所3階 健康教育室

内容:左京さくらちゃん体操(お口バージョンは休止)

実績:参加人数 延べ276名

主催:にっこり元気左ポーターズ(左京区健康づくりサポーター)



目標3 ひとにやさしいぬくもりのまちづくり

全てのひとが支え合いながら、住み慣れた地域で暮らしていくことができる地域共生社会を実現するまちづくりを進めます。

⑩ 健康長寿

★左京・高齢者にやさしいまちづくりプロジェクト

左京区役所と左京区地域ケア連絡協議会において、誰もが迎える高齢期に向けて、区民一人ひとりが自分ごととして高齢者にやさしい環境づくりに取り組むことができることを目的とする。取組としては、「左京区地域ケア連絡協議会」に設置している「さきょう認知症にやさしい地域づくり部会」を中心に、「高齢者にやさしい店」の普及啓発活動の推進、管内の中小企業等を対象とした「認知症サポーター養成講座」等を企画実施する。

○高齢者にやさしい店

- ・各包括支援センターが圏域の「高齢者にやさしい店」の登録は267店舗(R06.03末現在)
- ・「高齢者にやさしい店」の情報発信
地域への周知方法としてホームページの更新を行い、地域包括支援センターの広報誌に掲載いただいた。また、圏域ごとの登録店舗一覧を作成、区役所において配架した。
- ・ワンコイン学習会
専門職を対象としたテーマを企画し、「認知症ケア」について、講師と受講者が交流できる機会を提供した。
- ・「やさ店ニュース」の発行
活動報告及び新規登録店を紹介した情報を周知した。



- ・「左京区民ふれあいまつり」でのブース出展
3年ぶりに開催されたイベントにブース出展を行い、幅広い世代に対して、認知症に関する啓発活動を実施した。
内容: 認知症関連リーフレット等の配布
手作りカードゲーム(参加者数112名)
認知機能セルフチェッカー(参加者数29名)
- ・「高齢者にやさしい店」づくりのための認知症サポーター養成講座
内容: 当事者DVD鑑賞、家族およびやさしい店登録店からの報告
認知症の医学的理解 講師: 西村伊三男先生(左京医師会理事)
その他、意見交換、地域包括支援センター等からの案内

○認知症サポーター養成講座

各圏域の7か所の包括支援センター(高齢サポート)が、地区組織役員や学校、官公庁、銀行や会社からの申し出を随時受け付け、認知症について基本的なことを学び、地域で自分たちができることを考える機会を提供した。



★左京区民ふれあい事業(再掲)

目標3 ひとにやさしいぬくもりのまちづくり

全てのひとが支え合いながら、住み慣れた地域で暮らしていくことができる地域共生社会を実現するまちづくりを進めます。

⑪ 障害者福祉

★左京こころのふれあいネットワーク

「心の病がある人も、そうでない人も、住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らす」ことを理念とし、医療機関や福祉サービス事業所、教育機関、行政機関などで構成された組織で様々な取組を実施。

○心ときめき芸術祭

精神障害について正しい知識の普及啓発や地域住民との交流などを目的に開催

開催日：令和5年11月8日、9日

場所：洛北阪急スクエア地下1階センタースクエア

参加人数：約450名

内容：
・医療機関、福祉施設の芸術作品展示
・作業所系福祉施設における自主製品販売
・ネットワーク構成団体の事業所紹介
・精神保健福祉に関する情報コーナーの設置
・保健師によるミニ講話



○卓球大会

当事者の方々をはじめ、障害福祉サービス事業所、病院、社会福祉協議会等関係機関が交流を深めるため、施設間対抗卓球大会を実施。（参加者約60名）

開催日：令和6年1月26日（金）

場所：京都市障害者スポーツセンター

構成団体：ネットワーク全体に参加を呼びかけ、当日参加の団体で実行委員会を構成

○セミナー事業

「こころの病がある人もない人もいきいきと暮らす地域づくり」を目指し、セミナー事業を実施。

①市民向け精神保健福祉セミナー

市民の皆様を対象としたセミナーを開催（参加者約70名）

開催日：令和6年3月19日

実施場所：左京区役所 1階 大会議室

テーマ：家族も元気になる話～自分の人生も大切に生きよう～

②地域セミナー

各地域課題に合わせたセミナーを開催（参加者約23名）（令和5年度は錦林東山学区で開催。）

開催日：令和6年2月24日

実施場所：京都市東部いきいき活動センター

テーマ：高齢者のうつ、認知症等について

★大学生へのメンタルヘルス啓発

区内の大学生等の学生がいきいきと安心して過ごせるまちづくりのために、学園祭でストレスチェック、アルコールパッチテスト等を実施

・京都ノートルダム女子大学

開催日：令和5年10月28日

参加人数：ストレスチェック37名

アルコールパッチテスト18名

・京都府立大学

開催日：令和5年11月5日、参加人数：約110名

※ その他、全市的な取組である

左京はあとふるコーナーの取組や、月1回の飛鳥井ワークセンターによる左京区職員向けパン販売を実施。



目標3 ひとにやさしいぬくもりのまちづくり

全てのひとが支え合いながら、住み慣れた地域で暮らしていくことができる地域共生社会を実現するまちづくりを進めます。

⑫ 地域コミュニティ・安心安全

★学区の安心安全ネットワーク継続応援事業

「左京区安心安全ネットワーク継続応援事業補助金交付要綱」に基づき補助金を支出。元学区や小学校区を単位に、地域の各種団体を中心に構成される横断的な団体が実施する、防犯、地域福祉、防災、子どもたちの安全対策などの分野での身近な安心・安全の確保の取組への支援を行う。

7学区の7団体に対して合計644,700円を支出。

<交付先>

- ・ 北白川安心安全ネットワーク
⇒交通安全等のサインを作成し、電柱に設置。
- ・ 八瀬学区の安心安全な街づくりを応援する会
⇒安全意識啓発事業を実施し、防犯グッズ等を配布。
- ・ 葵小学校運営協議会安心安全ネットワーク
⇒見守り活動用の旗や、配布用の防犯物品を購入し啓発活動を実施。
- ・ 岩倉明德学区安心安全ネットワーク推進協議会
⇒パトロール用品や啓発用のぼり旗を購入し、見守り活動で使用。
- ・ 修学院学区安心安全推進委員会
⇒広報誌の作成やパトロールの際に使用するスタッフ用帽子や旗を購入。
- ・ 岩倉北学区安心安全団体連絡協議会
⇒子供の飛び出し注意喚起看板や交通安全用ポール等の購入。
- ・ 大原安全会
⇒見守り活動用マグネットシートや防犯用看板の購入。

★世界一安心安全・おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動

○安心安全活動支援・防犯啓発物品等支給事業

団体向けに地域の防犯活動等に必要な物品の購入補助や、自転車盗対策物品を支給。

○特殊詐欺対策の防犯機能付き電話機支給事業

個人向けに通話内容録音機能等、特殊詐欺被害防止機能を有した電話機を支給。

○安心安全に係る木製啓発物品支給事業

団体向けに自転車盗対策や特殊詐欺対策・子どもの安全対策など、安心安全に係る木製啓発物品を支給。

★高齢者にやさしい街さきょう(高齢者にやさしい店)(再掲)

★左京区民ふれあい事業(再掲)

左京北部山間地域に関する取組等について

令和5年度関係事業一覧（再掲）

北部

- ★チマキザサ再生プロジェクト
 - 山村都市交流の森センターエリア等のリニューアルオープン（農林振興室林業振興課）
 - ★北部山間地域魅力創造・発信事業
 - 左京区管内における道路整備等（京北・左京山間部土木みどり事務所）
 - ★左京食文化推進事業「“ほんまもん”の食を楽しもう」
 - 京都・里山親子でめぐる伝統文化体験教室（地域自治推進室）
 - 「とっておきの京都」プロジェクトにて、大原地域で実証事業実施（観光MICE推進室）
- （★：左京区事業、●他局事業）

（まちづくり交付金事業：資料1-2）

- 16 木育フェスティバル
- 17 ももいなまつり（はすまつり）
- 18 花脊里山での学びあいプログラム
- 20 村・留学 久多 2023
- 21 （ふるさと森都市フェスティバル）広河原里山フェスティバル
- 23 京都大原文化センター広報誌



世帯と人口の推移

学区	世帯数						人口総数					
	H17国調	H22国調	H27国調	R2国調	R5.7推計	R6.6推計	H17国調	H22国調	H27国調	R2国調	R5.7推計	R6.6推計
花脊・別所	142	125	107	107	105	107	332	280	244	229	211	213
広河原	44	47	41	39	36	36	116	108	97	112	105	107
久多	57	51	41	35	25	23	117	100	84	70	54	45
大原（百井）	19	14	14	13	—	—	36	26	25	27	—	—
合計	262	237	203	181	166	166	601	514	450	411	370	365
左京区全体	80,298	82,067	83,423	85,726	87,639	88,070	169,587	168,802	168,266	166,039	164,811	163,892

※ 「推計」は、令和2年国勢調査結果（確報値）に基づく推計値。大原（百井）の数値発表なし。